

いつ避難するかを知らう

5 段階の警戒レベルと気象情報

警戒 レベル	皆さんがとるべき行動	市からの情報	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保 すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所より安全な場所へ直ちに移動。	緊急安全確保	大雨特別警報
4	危険な場所から全員避難 - 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 - 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風の前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者以外の人も必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクと避難情報の把握手段を再確認する。		大雨注意報 洪水注意報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報

ここまで
必ず避難！

**災害に強い
宇陀市を目指して**

宇陀市は他の地域と比較すると、災害が少ない地域ではありませんが、

右の資料にもありますように昭和34年の伊勢湾台風や昭和36年の第2室戸台風では宇陀市でも甚大な被害をもたらし、平成10年の台風7号では日本遺産に認定されている室生寺五重塔にも大きな被害をもたらしました。

平成23年9月に発生した紀伊半島大水害は、宇陀市においては幸い小規模の被害にとどまりましたが、県内で死者14人、行方不明者10人という甚大な被害を引き起こしました。

現在、室生寺も元の美しい姿を取り戻し、紀伊半島大水害からも復興を果たしていますが、災害は繰り返すと言われており、私たちはこれらの災害で経験したことを教訓とし、次世代に継承することが重要であることを改めて知ることとなりました。過去の災害を知り、災害に備えることは、危機管理上欠かせないことです。

市民の皆さんにも「天災は忘れた頃にやってくる」という古い警句を肝に銘じていただきたいと思います。

過去の災害を知り、 新たな災害に備える

右の資料にもありますように昭和34年の伊勢湾台風や昭和36年の第2室戸台風では宇陀市でも甚大な被害をもたらし、平成10年の台風7号では日本遺産に認定されている室生寺五重塔にも大きな被害をもたらしました。

今後30年以内に80パーセントの確率で発生すると言われている南海トラフ巨大地震では、国の発表によると宇陀市でも最大震度6強が想定されており、甚大な被害が懸念されるところです。また、近年の気象状況からも集中豪雨や突風・竜巻・スーパ台風等、今までの予想を超える自然災害が頻発しています。

これらの災害から市民の皆さんの安全を確保していくために、公助としてのハード・ソフト対策を強化するとともに市民の皆さんによる自助、地域における共助の取り組みを推進することにより災害に強い宇陀市を目指していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



危機管理監 奥



伊勢湾台風
流木が押し寄せた様原 天野橋

迫る自然災害... あなたは どう行動する？

問 危機管理課 (02) 3304-1388 (FAX 02) 3304-1389

昭和34年（1959年）
9月25日、26日
伊勢湾台風

県内で台風の進路に一番近かった宇陀郡では、午後7時前後より、郡内の河川が一斉に氾濫し始めました。

菟田野町では、芳野川が午後7時過ぎからあふれ出し、30分後に決壊。川に沿って帯状に広がる民家を濁流が襲い、ほぼ全町が水浸しになり停電しました。川にかかる橋もほとんどが流失し、一時は屋根に届くくらいに増水しました。

榛原町では、役場裏で午後7時半頃より氾濫し、町内が床下浸水しました。最終的に町内の宇陀川に架かる橋が天野橋を残して全て流失してしまい、全町の7割が浸水するまでに被害が広がりました。

室生川が氾濫した室生村では、室生寺に架かる太鼓橋の橋げたに流木がたまり、そこから水があふれました。川沿いの門前町は水につかり、太鼓橋も流失。室生寺は孤立状態となり、門前町だけで10軒以上が水に流されてしまいました。当時を知る人は、台風の来る3日間はバケツをひっくり返したような雨が降り続いていたということでした。

【奈良県発行「歴史から学ぶ奈良の災害史」より 写真・文】

伊勢湾台風
【人的被害】
死者 11 人 負傷者 4 人
行方不明 1 人
【家屋被害】
全壊 27 棟 半壊 151 棟
流失 26 棟 浸水 1999 棟



平成10年台風7号
大きく破損した室生寺五重塔

昭和28年（1953年）
9月22日、25日
台風13号

【人的被害】
死者 4 人・負傷者 5 人
【家屋被害】
全壊 6 棟・半壊 61 棟
流失 5 棟・浸水 764 棟

昭和36年（1961年）
9月14日、16日
第2室戸台風

【人的被害】
負傷者 5 人
【家屋被害】
全壊 22 棟・半壊 74 棟・浸水 21 棟
昭和46年（1971年）9月26日
台風29号
【人的被害】
負傷者 1 人
【家屋被害】
浸水 370 棟

平成10年（1998年）9月22日
台風7号

【人的被害】
負傷者 1 人
平成23年（2011年）
8月30日、9月4日
紀伊半島大水害
【家屋被害】
一部損壊 3 棟

※被害数はいずれも現宇陀市内

ここ数年、市では大きな被害をもたらす自然災害は発生していません。しかし、過去には大きな被害を出した災害が起きています。災害はいつ、どこで起きるかわかりません。

そのとき、あなたはどうか行動しますか。

✓ 情報を得る手段を事前に確認！

災害時に適切な行動を取るためには、気象情報等を把握しておき、市からの避難情報を得る必要があります。自主的な避難のために、あらかじめ自分が必要とする情報入手方法について確認しておきましょう。

▶安全・安心メール



気象警報発令や避難情報等をメールでいち早くお知らせします。

登録がまだの方は
こちらから



いち早く
避難情報を知るための
大切な手段です！
必ず登録を！！



危機管理課
松本

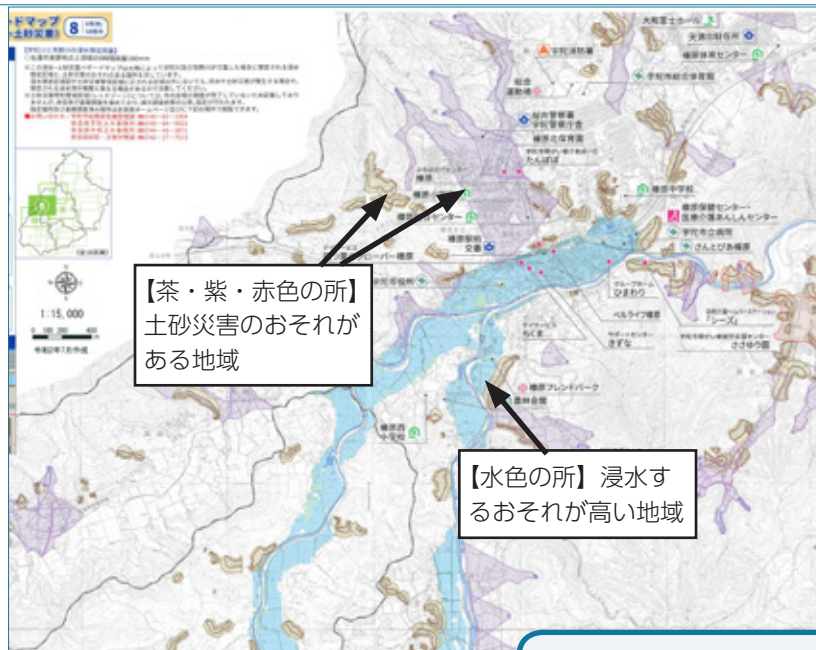
▶防災情報電話（ファックス）



メールが利用できない方は こちらに登録してください

安全・安心メールで配信する内容を音声に変換し、登録された電話番号へ「**電話配信**」および「**ファックスへの配信**」により、一斉送信します。

登録は、**問 危機管理課へ**
(☎ 82・3675/IP ☎ 88・9088)



色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる場合、市からの避難情報を参考にし、必要に応じて避難してください。



ハザードマップは昨年、全戸配布しています。市ホームページでも公開しています。

市ホーム
ページ



▶市ホームページ 公式SNS

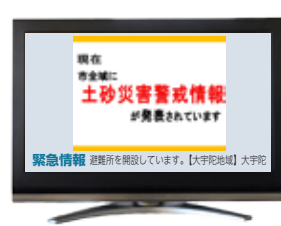


情報収集に活用してください！



避難所の開設状況や気象情報をアップしています。

▶うだちゃん11



災害時は常に
確認してください！

災害警戒時は緊急放送として避難情報等を放送しています。

▶防災行政無線



避難を開始してください！

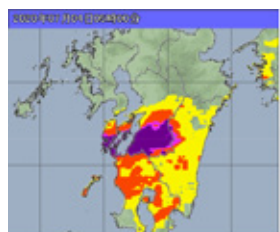
放送内容が聞き取れない場合
災害時電話応答サービスへ
【☎ 82・8100/82・8101】

▶キキクル（危険度分布）・気象庁

大雨のとき 今いる場所の危険が分かる！

キキクル（危険度分布）は警報が発令されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水被害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための気象庁からの情報です。

キキクル
（気象庁ホームページ）



令和2年7月豪雨時の危険度分布（大雨警報（土砂災害））

地図上に災害の危険度が色で表示され、一目で確認できます

大雨警報/土砂災害の危険度分布
【極めて危険【警戒レベル4相当】】
【非常に危険【警戒レベル3相当】】
【警戒レベル2相当】
【警戒レベル1相当】
【今後の情報等】に留意

避難時の感染対策

市が開設する避難所では、感染対策を実施します。皆さんのご協力をお願いします。

- ◆検温のうえ、問診票の記入
- ◆マスクの着用、手指の消毒（ご自身で準備してください）
- ◆隣の人との間隔の確保
- ◆定期的な室内の換気



市では、避難所での感染対策と、避難者のプライベートスペース確保のため、屋内用個室テントを導入しました。

事前に確認しておこう

✓ ハザードマップで 自宅の危険度を事前に確認！

避難方法や避難のタイミングは居住場所や環境によって異なります。ハザードマップで自宅の災害リスクや、避難所、自身の避難行動をあらかじめ確認しておきましょう。

自宅の場所を確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

はい

災害の危険があります。自宅以外の安全に避難できる場所を考えておきましょう。

自分自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

はい

**警戒レベル3
（高齢者等避難）
が出たら避難！**

いいえ

**警戒レベル4
（避難指示）
が出たら避難！**

✓ 避難場所を事前に確認！

避難とは **難** を **避** けること

水平避難

- ◆市の指定する避難所への避難（避難所はハザードマップや市ホームページに掲載）【※宇賀志地区体育館は廃止されました】
- ◆自治会等が開設する自主避難所や安全な知人宅への避難

早めの行動が大事！



垂直避難

- ◆屋内の2階以上の安全を確保できる場所に移動
- ◆自宅内でより安全と考えられる場所にとどまる

屋外での移動が危険なとき



市の指定する避難所に行くことだけが避難ではありません。難を避けるための行動を取りましょう。

✓ 避難時に必要ものを 事前に確認！

- | | |
|-----------------|---------|
| □飲料水、食料品 | □衣類、防寒具 |
| □保温アルミシート | □懐中電灯 |
| □携帯電話、充電器 | □貴重品 |
| □医薬品、常備薬 | □ティッシュ |
| □健康保険証 | □運動靴 |
| □マスク、消毒液、体温計 など | |

必要な分だけを準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう！



危機管理課
課長補佐 筒井